

伊勢奥津駅は、松阪駅を起点とした全長43・5kmのJR名松線の終着駅です。名松線は、平成21年の台風被害により、白山地域の家城駅と伊勢奥津駅間で、バスによる代替運行が行われていましたが、今年3月26日(土)に約6年半の歳月を経て復旧され、全線運行が再開します。

美杉町奥津にある伊勢奥津駅に到着すると、かつて蒸気機関車が運行されていたときに利用されていた給水塔が目立ちます。駅の改札口を出て100mほど南へ歩くと、伊勢と奈良を結ぶ伊勢本街道と奥津宿のまち並みが見えてきます。



伊勢奥津駅の給水塔

奥津は、江戸時代から明治時代には、お伊勢参りに行き交う人々の宿場として、昭和初期には、材木の出荷で大変にぎわいました。かつての芝居小屋や旅籠、商家であった建物が今も残り、街道沿いの家々には屋号の書かれたのれんが掛けられ、訪れる人を迎えてくれます。

駅北側にある八幡神社は、社伝によれば文和2(1353)年、伊勢国司北畠顕能による創建で、国司家代々の祈願所だったそうです。覆屋おおいやがかげられた本殿は、慶安2(1649)年の焼失後に建て替えられたものと考えられていますが、一部に



八幡神社本殿

室町時代末期(16世紀)の形式を残している、その当時の貴重な資料として三重県指定文化財となっています。伊勢奥津駅から街道を西に向かうと、石名原宿があり、その先に山桜の並木で有名な名勝三多気の桜があります。一方、街道を東に向かい、街道一の難所と言われる飼坂峠を越えると、史跡多気北畠氏城館跡があります。

全線復旧した名松線。その終着駅には、歴史の香りと旅人の心を和ませてくれる暖かな春が息吹いています。ぜひ、名松線に乗ってお出掛けください。



文・写真▶ 教委生涯学習課

白山消防署一志分署が新築移転します

消防力の充実強化を図るため、移転・建て替え整備を進めてきた一志分署が完成しました。3月24日(木)の13時から新庁舎での業務を開始します。申請書・届出書の提出先をお間違えないようにお願いします。

移転先(電話番号・ファクス番号は変更ありません)

〒515-2504 一志町高野160番地39(一志体育館の西隣)

問い合わせ 白山消防署一志分署 ☎293-0279 FAX 293-1899

